



ひかりのこつうしん

No.3

2022/6/29

3年ぶりに保護者の方が集まったのクラス懇談会が先日終了しました。園では知りえないおうちでのお子さんの様子を聞かせて頂き、驚いたり、感心したり…。また幼稚園の取り組みを写真などで紹介すると、「園での様子がよく分かり安心しました」「家でしていたことはこれだったんですね。点と点が繋がりました」と感想を述べて下さいました。またグループディスカッションでは、兄弟げんか、排泄、偏食、1番になりたがるこだわりなど様々な話題が出て、それぞれの思いや体験談が語られ、「わかる、それー！」「うちもそう！」などお話に花が咲きました。心に残ったいくつかをご紹介します。



卒園児の兄

小学校入学当初クラス内では幼稚園では聞いたことのないような「死ね」「ぶっ殺すぞ」「黙れ」等の言葉を浴びせる同級生がいて、「なんでそんなことを言うんやろう」と悲しい気持ちを感じながらのスタートでした。幼稚園年長時代、「ちくちくとふわふわ」の絵本を読み、「そういう言葉を言われたらどんな気持ちになるか」「どんな言葉を言ってもらったらうれしいか」みんなで考え合ったことを思い出し、「自分は使わない」と心に決めました。また一方で小学校入学当初、ほとんどの同級生はひらがなを書けることを知り「幼稚園ではなぜ勉強を教えてくれなかったのだろう？」とみんなより自分は勉強が遅れているのかも？と感じたこともあったそうです。

でも5年生になった今、彼は「勉強は1から学校が教えてくれ全然問題なかった。だけどひかりの子幼稚園は、自分を大切に思うように相手も大事な存在なんだという、勉強よりもっと大切なことを教えてくれたところだ…。」と話しているとの事でした。お母さんは考える力を身につけさせてくれて、小学校という「社会」に送り出してくれたことを、改めて感謝していると言われていました。



お茶会ランキング

お茶を急須で入れているのを見たことがない、ペットボトル世代の子どもたち。「お茶の葉」というものがあることを知りました。「お家ではどんなお茶を飲んでいるか聞いてこよう！」という宿題が出ました。「麦茶」「ほうじ茶」「ルイボスティー」「緑茶」「紅茶」「どんな味がするのか飲んでみたい」ということになり、みんなで飲み比べをしました。お茶会ランキングをして「ルイボスティー」が第1位に輝きました。おうちに生えているよもぎを炒ってよもぎ茶や、無農薬のほうじ茶、ゴボウ茶をどうぞと言って届けて下さる保護者の方もあり、子どもたちにとってお茶が身近なものになりました。今まで麦茶しか飲まず、旅先で出されるお茶を飲まなくて困っていたけれど、今回いろんなお茶があることを知り、麦茶以外のものも飲めるようになり、クラスでの経験が味覚を広げられたことをお母さんは喜んでおられました。

屋前にクラス懇談会が終わり、ホールを14時まで開放しましたら、お時間のある方は昼食を買いに行き、食事を共にしながら、和気あいあいとクラス親睦を深められていました。

今回のクラス懇談会で感じたことは、保護者の方は育児をする中で、ご自分の役割が大切だと自覚されていること。それだけに、うまくいかないとご自分を責めてしまうことが多いということも実感しました。だからこそ、その大変さをわかってくれる人、共感してくれる人が必要なのだなあということも。「私も同じだったよ。大丈夫。きっといつかできるようになる、その時が来るから」と一緒に話を聞いてくれる温かい存在が。この役割はパートナー、祖父母、先生、近所の人たちなど誰でもが担うことができますと思います。本音を語って支え合う中で、知恵や、忍耐、思いやりの心も神様から授かるのだと思います。

7/5(火)には「第2回育自のひろば」が交野教会で開かれます。皆様のご参加お待ちしております。子育ての面白さ、楽しさ、しんどさをワイワイおしゃべりしましょう！

ひかりの子幼稚園園長 松本直子